

御堂筋将来ビジョン

■ コンセプト

【道路空間】

「世界最新モデルとなる、人中心のストリートへ」

～まちとつながり、人がつながっていく新たな価値を創出する空間へ～

【道路空間の取組み】

人中心～フルモータル化

御堂筋完成100周年をターゲットイヤーとして
車中心から、人中心の
ストリートに転換を図る
ための検討と実践を推進



【都 市】

都市のリノベーション～関西・大阪の成長

～都市のリノベーションを推進するトリガーとしての道路空間の再編～



情報ネットワーク



都市インフラネットワーク

御堂筋の道路空間再編の進め方

■ 将来ビジョン実現に向けた段階的な取組み

側道歩行者空間化

短期目標:千日前通から道頓堀川区間は東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年

中期目標:道頓堀川以北は2025日本万国博覧会が開催される2025年



【側道歩行者空間化に向けた主な取組み】

- 社会実験などによる交通や荷捌きへの影響の検証
- 交通や荷捌き、自転車の通行や駐輪のあり方、空間の利活手法などを地元関係者と議論する場を設置
- 持続可能な公民連携体制づくり…など

将来ビジョン

長期目標:御堂筋完成100周年をターゲットイヤー



【将来ビジョン実現に向けた主な取組み】

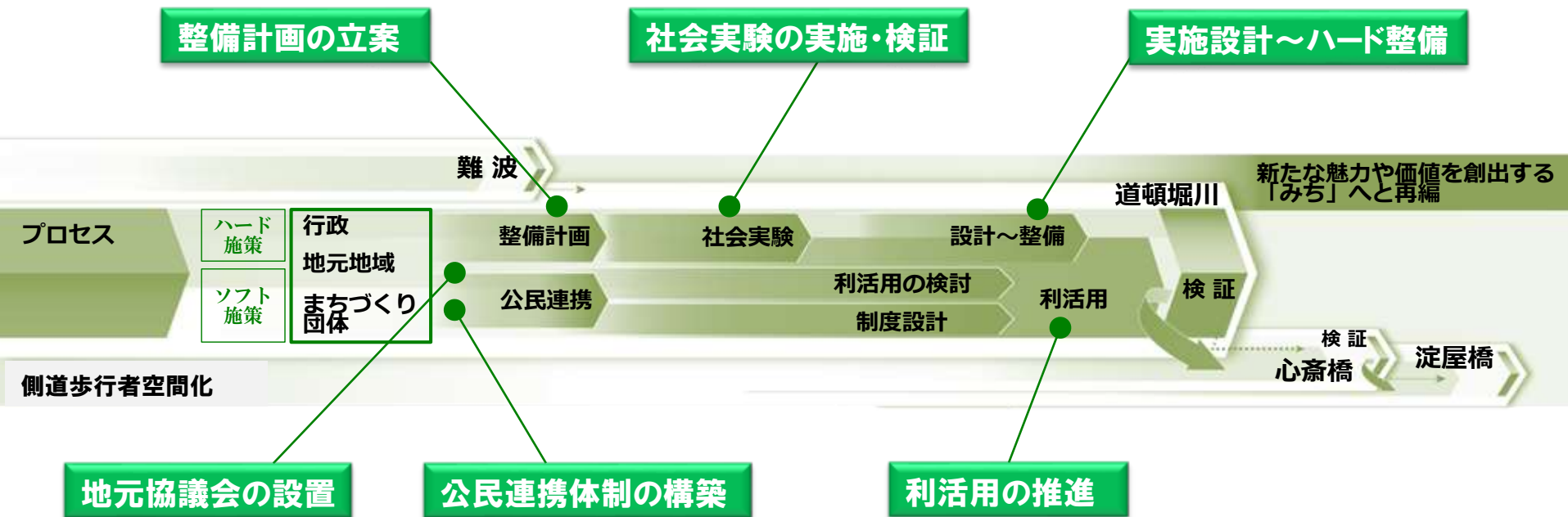
- 側道歩行者空間化に向けた主な取組みの継続・発展
- 都心部全体の交通ネットワークの再編
- 人と多様なモビリティが安全に共存できる空間・仕組みづくり…など

御堂筋の道路空間再編の進め方

■ ファーストステップ「側道歩行者空間化」に向けた取り組み

段階的な道路空間再編の進め方

- 御堂筋の地域特性をふまえ、まずは千日前通から道頓堀川区間を先行して進めることとし、「整備計画の立案～社会実験の実施・検証～実施設計～ハード整備～利活用の推進」といった取り組みを行い、**整備効果や整備のあり方、利活用手法等についての検証を繰り返しながら**、順次北側に展開していく。



御堂筋の道路空間再編の進め方

■ 「人中心～フルモーダル化」に向けた取り組み

都心部全体の交通ネットワークの再編

- 大阪都市再生環状道路の構築により御堂筋に流入する通過交通を分散させることに加え、御堂筋周辺の幹線道路や御堂筋に接続する東西道路など、**都心部全体のネットワークの再編**を行う必要がある。



人と多様なモビリティが安全に共存できる空間・仕組みづくり

- 歩行者を優先としながらも、荷捌き車両や緊急車両の通行をはじめ、自転車やパーソナルモビリティなどの新たな移動ツールなど、**多様なモビリティが安全に共存することのできる空間・仕組みづくり**を行っていく必要がある。



スペイン バルセロナ ランブラス通り 写真出典:Alessio Catelli / Shutterstock.com